

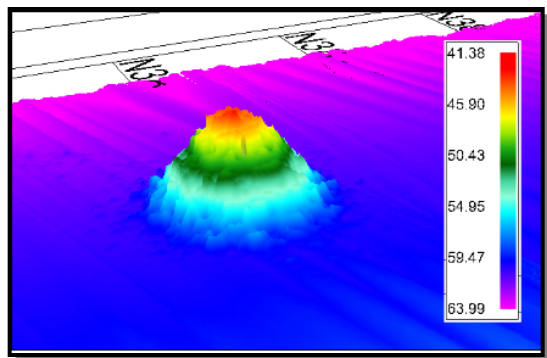
➤ 韓国的人工湧昇流 漁場事業 現況

□ 人工湧昇流を利用した漁場環境造成事業：研究事業 (海洋水産部)

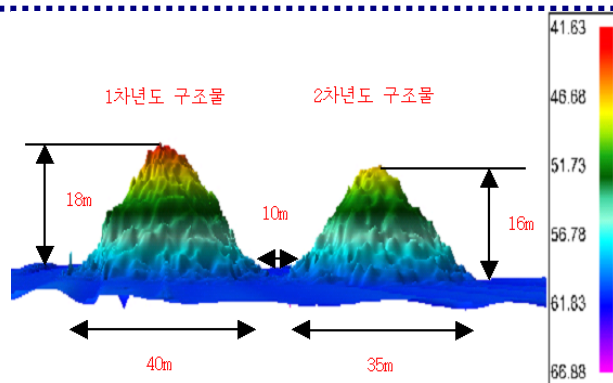
- ✓ 研究期間：2000~2002年(3年)
- ✓ 主な研究機関：釜慶大学

□ 試験事業：2004 ~ 2009年 (海洋水産部/国立水産科学院)

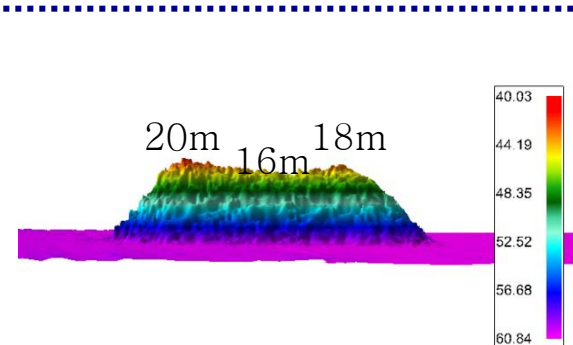
- ✓ 事業海域：南海岸 someamuldoとGukdo周辺海域
- ✓ 事業費：約 100億ウォン (政府投資)
- ✓ 構造物大きさ: 人工湧昇構造物 (200m×40m×20m) 1式
- ✓ ブロック：産業不産物の再利用(石炭灰, 製鉄スラグまたは、RMB)
- ✓ 主な研究機関：釜慶大学



1次年度('04年) 人工湧昇構造物：
(半径 45m, 高さ18m)



2次年度('05年) 人工湧昇構造物：
(半径 35~42m, 高さ16m)



3次年度('06年) 人工湧昇構造物：
(80m×42m×16~20m)

試験海域

